



あさです。  
「あー、よくねた」  
おいなりさんは  
おもいっきり  
いきをすいました。



まず、みなりを ととのえます。

「きょうは、くちに べにしょうがを

つけてみようかな。

ふふ。やめた」

おいなりさんは さとうを とかした

しょうゆに、しょうがじるを

まぜた ローションを、

シュツ、シュツ、シュツ！

と あたま ぜんたいに かけました。



それからすぐにそらじです。

ハタハタハタ

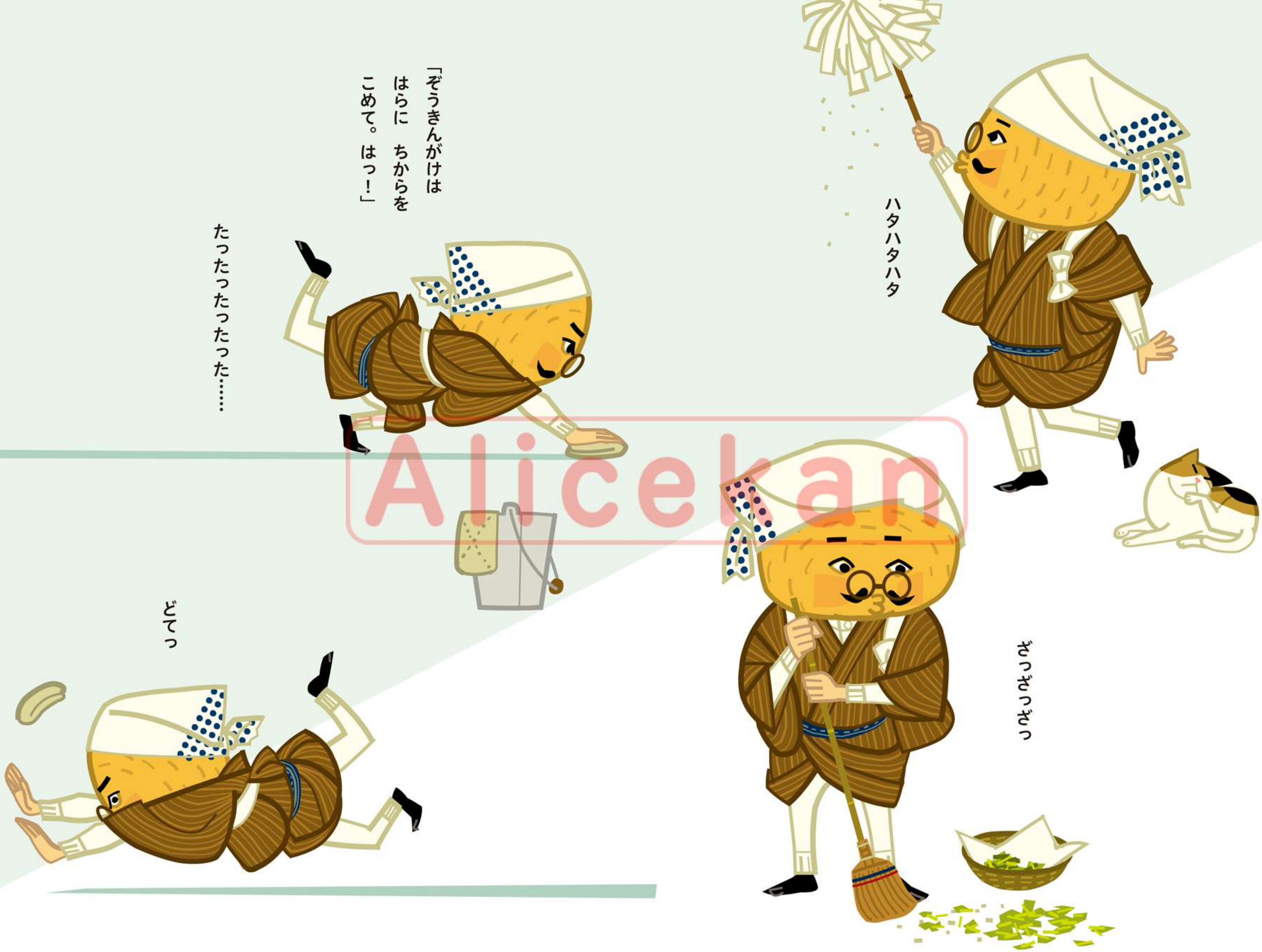
「ぞうきんがけは  
はらに ちからを  
こめて。はっ！」

たっ たっ たっ たっ たっ たっ たっ ……

AliceKan

うん じゅん じゅん

うん じゅん



おいなりさんが  
あさごはんを  
すませたころ、  
きんじよの  
こどもたちが  
にわの まえを  
とおります。

「おいなりさん！  
おはようございます」  
「おはよう！  
さっしゅさっしゅ」



Alice Chan

おいなり

せんたくをしながら、  
となりのくるよさんと  
おしゃべりしていると、  
みちを たずねられました。

「あいう、すまきしようがっこうは……」  
「そこ、みぎに まがって つきあたりですよ  
とくるよさん。」

「もしかして、あたらしく はいる せんせい？」  
「はう」



Alicekekan

「おいなりさんも しよびつぎやうじの  
せんせいなの、ね？」  
「そう いわれて おいなりさんが  
かおを だすと……。」